




令和 4 年度 施策評価表

施策	1801	道路網の整備	施策担当部	都市整備部	部長	嶋原 純治
			施策担当課	道路整備課	課長	内田 清和
施策の方針	交通の利便性と安全性を確保するため、国道34号の整備促進、幹線道路や生活道路の整備を計画的に進める。					
関連するSDGsのゴール	  					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 都市計画道路の改良率	%	66.0	66.0 70.1	72.0	73.0	74.0	74.0	106.2%	94.7%
② 市道の改良率	%	68.0	68.2 68.3	68.4	68.6	68.8	69.0	100.1%	99.0%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

①都市計画道路の改良率  
池田沖田線が整備完了（R4.3.26供用）したことから、改良率が増加した。  
②市道の改良率  
対象となる市道認定路線の延長増や経年劣化による維持管理、災害復旧工事が優先となり、道路改良に必要な経費が減少したため改良実績値は前年度実績から微増となった。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	712,313	657,636	1,544,774	
	国庫支出金	174,818	172,144	456,317	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	309,011	219,215	638,856	
	その他	13,449	13,223	15,098	
	一般財源	215,035	253,054	434,503	
	人件費	112,633	119,483	—	
フルコスト	824,946	777,119	—		

施策の概要（細施策）

180101	国道34号の整備促進	国道34号は長崎県の交通を支える重要な幹線道路であるとともに、国土強靱化における緊急輸送路としての役割もことから、大村諫早間の4車線化による慢性的な渋滞解消と安全・安心な道路整備の早期完成を促進します。 また、市内中心部の拡幅についても、未整備区間の早期完成を促進します。
180102	幹線道路の整備	九州新幹線西九州ルートの開業等による交通需要の変化などを踏まえ、「池田沖田線」、「坂口植松線」など、都市計画道路の整備を進めます。
180103	生活道路の整備	市民生活における移動の利便性と安全性を確保するため、市道の計画的な整備とその他生活道路の維持管理等の促進に努めます。 また、長寿命化計画に基づき、道路施設の適切な維持管理に努めます。

**【CHECK（評価）施策担当部長】**

**施策を達成する上での問題点・課題**

- ①都市計画道路の改良率  
改良については、多額の予算及び用地が必要となるが、事業費の内率減及び用地・補償提供者との交渉に多くの時間を要している状況であり、交付金等の予算確保と早期の用地取得が必要である。
- ②市道の改良率  
市道の経年劣化による維持管理費の増加により、改良に必要な予算確保が厳しい状況であるため、改良については選択と集中により整備を進めていく必要がある。  
また、現在も各地区から年間数か所の改良要望が上がっており、以前から要望を受けている未着手箇所では、地元から苦情が寄せられるなど、対応できていない状況であるため、さらなる予算の確保と早期の工事着手が必要である。

**【ACTION（改善・改革）】**

**上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方**

- ①都市計画道路の改良率  
道路改良の未買収地取得に向け、用地協議の密度を高め、基金を活用し事業用地の取得を加速化させる。
- ②市道の改良率  
地元からの要望や維持管理費の増加により、改良の予算確保が難しい状況である。事業実施の優先順位の再検討などを行いながら、予算の効率的な執行に努め、市道改良率の向上につなげていく。

**令和5年度新規事業**

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	